



# ゆいっこ盛岡新聞

ぼくらの復興支援 IWATE & YUICCO

vol.1 発行日 / 2011.5.22

編集・発行 / ゆいっこ盛岡支部  
 〒020-0839 岩手県盛岡市津志田南 3-7-28  
 Tel : 019-681-6006 Fax : 019-681-6010  
 Mail : morioka@yuicco.com  
 Blog : http://yuicco.com  
 Twitter : iwate\_yuicco



2011年3月11日に発生した東日本大震災。

肉親の名前を呼びながら、瓦礫（がれき）の山をさまよう人の群れ。着のみ着のままのその体に無情の雪が降り積もる。未曾有の大地震と大津波に追い打ちをかけるようにして発生した原発事故……。辛うじて一命を取りとめた被災者の身に今度は餓死と凍死の危機が迫りつつあり、もう、一刻の猶予も許されない被災地の状況を目の当たりにし、もういても立ってもいられなくなりました。「何かしなくては……」

想いの同じ民間有志が集まり、復興支援組織「ゆいっこ」を立ち上げました。岩手県北上市に本部を置き、現在までに岩手県内外に7つの支部が存在し、被災住民を受け入れる内陸部の後方支援グループとして、救援物資やボランティアの受け入れ、身の回りのお世話、被災地との連絡調整、傾聴など精神面のケアなど行政を補完する役割を担っていきたくと考えています。

今こそ、都市と農村、沿岸部と内陸部との関係を結び直し、共に支え合う国造りに立ち上がらなければなりません。

私たちはお互いの顔が見える息の長い支援を目指しています。

これからたくさんの方々のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

## 清掃ボランティア募集 !!

ゆいっこ盛岡では毎週日曜日（第4日曜日を除く）に宮古地区の清掃活動をしています。

清掃活動にご協力いただける方を毎週募集しておりますので、是非ご協力ください。（募集内容はその週の月曜日にホームページでお知らせしております）

## 被災地に喪服を送るプロジェクト用支援金募集 !!

被災地の方から、お盆に着るための喪服を提供していただきたいとの声があがりました。ゆいっこ盛岡では、7月に行う無料バザーでの喪服の提供を考えています。物資の寄付で賅えない分を、現金購入で補おうと思っていますので、喪服用の支援金を募集しております。また、被災地への支援活動に使う支援金も随時募集しております。無理のない範囲でご協力いただければと思います。

振込は、同封の振り込み用紙、または下記口座までお願いします。

岩手銀行 津志田支店 店番 070 普通預金 口座番号 2065288  
 口座名義 ゆいっこ盛岡支部

※事務局からのお知らせ「ゆいっこ盛岡新聞」は、今号のみ郵送とし、次号からはホームページよりpdfをダウンロードしていただく予定です。今後も郵送をご希望の方は、電話やメールにて事務局にお知らせください。また、事務局にも置いてあります。

## ご支援ありがとうございます

ゆいっこ盛岡が立ち上ってから、1ヶ月半が経ちました。たくさんの方々から、義援金や、カンパ、支援物資を預かりました。

**支援金** こちらの事務所にお持ちくださったたり、現金書留で送ってくださったお金については、すべて「支援金」としてゆいっこのボランティア活動の大切な資金として利用させて頂くことになりましたので、下記報告いたします。

**【支援金合計】 ¥212,121**

**【支出】 ¥25,849** 内訳：スコップ、清掃活動用品の購入、ガソリン代など

**【残金】 ¥186,272** 5月16日現在

**【支援金をお持ちくださった方】** ※敬称略  
 鈴木麻由、吉田ハナ子、(株)松作、岩手中央青果(株)、長崎南部生産組合、小原義喜、吉田章、青木一夫、根本政三、菅原文夫、吉田満夫、吉田光晴、田中健一

**支援物資** また、お預かりした、日用品・衛生用品・おもちゃ・燃料などのさまざまな支援物資は、下記避難所などに提供させていただきました。

**【提供先】** 宮古市(田老、佐原、大浦小学校、漁村センター、愛宕小学校)、山田町、大槌町

**【支援物資をお持ちくださった方】** ※敬称略  
 石田正純、小川創子、金城稔子、藤原光子、佐々木裕子、小岩幸子、小野寿雄、泉山キエ、戸塚匡子、近藤衣理、鈴木真理、志村晴美、吉田茂美、宮崎聡子、押川泉、前田のぞみ、渡辺俊彦、吉村太郎、星紀子、鈴木麻由、川畑昌子、イオン盛岡有志と友人一同、(株)メディアグローバルリンクス、佐々木松江、鈴木佳澄、吉田是己、菊池セツ子、伊藤知子、健康アメニティ たのし、高科憲邦、小磯舞、小磯夏音、小磯希彩、小磯友寿、田辺雅人、大野耕平、荒川正則、藤原サヨ、大沼勉、中村悦子、松山詩織、武藤典子、(有)東北エタティエス、上路じゅんこ、山本祐子、内田雅子、工藤邦子、村田亮、藤岡利和、メガネの愛眼、リビングスタジオ、福岡葵、山寺寿恵子、田中聖子・紗弓、岩手日野自動車(株)、富澤洋、山田久枝、(株)貝印 札幌支店、渋川耕平、(株)プラスプラス、(株)NTTオリス、田原智子、寺平シュウコウ、岡根祐一、田畑円、福岡葵、西田諒生・佳乃子、リビングスタジオ、山崎俊明、吉田カヨ子、小泉正喜、渡邊里沙、山本みち子、和田弘夫・百合子、池田恵、(株)アイ・ティ・ビー・エス、小磯舞、高橋由美、井岡万里子、黒沼よう子、相澤早苗、金澤秀徳、沢田美幸、早川アツキ、水谷理恵、阿曾村由希子、井上かおり、新井悦子、西村明日香、山崎理紗、大庭めぐみ、宮崎このみ、岡田典子・美沙、羽賀和歌子・水樹・那音、佐藤恵・明日菜・夏楓、健康アメニティ たのし、久保田なお子、自力整体事務局 村田、(株)ブーン 高科憲邦 社員一同、吉田長明、ラクガキ屋 ひらたひさこ、吉田宗賢、吉田薫、杉山泰生、杉山理重、岩井昭、(株)アイ 他、近所の方、バス待ちの方、匿名の方

## 宮古地区清掃ボランティア

●4月16日・17日 レポート／秦野市・青木

この度は大変有意義な体験をさせていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

地域に密着し、行政を見事に補完される皆様方の活動に熱く共感いたします。復興の日まで、粘り強く活動を継続されますことを願ってやみません。私も微力ではありますがお手伝いさせていただきたいと思っています。自助、共助、公助の心は普遍だと思います。あらためて、日本が、日本人が大好きになりました。ありがとうございます。

●5月1日 レポート／すがわら

女性陣は9名ほどで松原公園の清掃を行いました。例年お花見をする人でにぎわうという、桜の綺麗な公園です。

震災直後は倒れた桜の木もあり、また車なども流れ着いていたとのことですが、大きなものは既に撤去されてありませんでした。ぱっと見た感じでは、なぎ倒されたフェンス、変形した遊具くらいで、もうあまり違和感がないようにも思えたのですが、清掃を始めると、津波の跡はまだたくさん残っていました。

たとえば、近くの事業所から流されてきたと思われる書類、それから包丁や調味料、食器類などの台所用品、文房具、割れたガラスの破片、さらにはタイヤやアスファルトのかげら、タイルなど大きなものもありました。桜の木の幹には、それらがぶつかってえぐられたと思われる傷が生々しく残っていました。

流されてきたまま土の下に半分埋もれている状態のものも多く、掘り起こしてゴミ袋にまとめました。用意していただいたゴミ袋はすべて使いました。かなりの数になったと思います。

また、今回は、ボランティア参加者と地元の方々が明るく挨拶を交わし合っていたことも印象的でした。

元気で積極的な方々ばかりで、助けられました。

今年は誰も見てあげなかったから、心なしか桜も早く散ってしまった気がする…と須賀原さんがおっしゃっていました。

来年は、またここでお花見をする人の姿がたくさん見られまじょうように、心から祈っています。



※写真は4月1日の宮古市磯鶏地区松原公園での清掃活動の様子

## ●今までの活動記録●

月	日	活動内容
3月	23日	ふれあいランド視察
		情報収集(宮古)
	27日	物資提供(宮古市田老)
	28日	ふれあいランド視察
	30日	物資仕分け
		ふれあいランド視察
31日	物資提供(山田)	
	物資仕分け	
4月	1日	物資提供(宮古市 佐原・大浦小学校・漁村センター)
		物資提供(山田町)
	3日	清掃ボランティア(宮古市磯鶏地区)
	4日	避難所での間仕切り設置(大槌町)
	14日	物資仕分け
	16~17日	清掃ボランティア(宮古市)
	17日	支援物資バザー(西上村地区会館)
	24日	清掃ボランティア(宮古市磯鶏地区)
	25日	現地調査(宮古市 グリーンピア田老、宮古市民総合体育館、宮古小学校、山口小学校)
	27日	老眼鏡提供(宮古市)
5月	1日	清掃ボランティア(宮古市磯鶏地区)
		絵本作りワークショップ(宮古市 グリーンピア田老・シーアリーナ)
	おもちゃ提供(宮古市愛宕小学校)	
8日	清掃ボランティア(宮古市磯鶏地区)	

## ワークショップ／とびだす絵本をつくろう ●5月1日 レポート／押川泉



福井県からのイラストレーター ひらたひさこさんのお手伝いで、宮古へ同行しました。

パステルを削って、その粉を使って指で絵を描く、という画法。初めての私も、ひらたさんから教わりながら、子どもたちと一緒にチャレンジしました。画用紙の上でパステルを削り、その粉を指でクルクル広げ…わあ☆きれいな絵が描けたよ!とだんだんとその楽しさにハマっていきました。

一緒に描いていた子どもたちの楽しそうな笑顔に、うれしくなり、絵を描くこと、みんなとあそぶこと、の大切さを実感した一日でした。

初めは恥ずかしそうに集まってきた子どもたちでしたが、ひらたさんからパステルの使い方を教わると、楽しそうに、思い思いの絵を描いていました。指でクルクルとパステルの粉を広げて、きれいな絵を描いている子。クレヨンで描いた上に、パステルで色をつけ、かわいい顔を描いている子。こいのぼりを描いている子。

そんな楽しそうな子どもたちの様子に、おばあちゃんたちも集まってきました。絵は子どもだけでなく、大人だって癒やしてくれる、と実感しました。涙ぐんでいらっしやる方もいました。

終わりに、ひらたさんやその仲間のみなさんが準備した「おえかきセット」が、プレゼントされました。子どもたちは、うれしそうに「あしたからも絵がかけよう」と喜んでくれていました。

この日の体験が、避難所の子もたち、おばあちゃんたちの心の癒やしになればいいなと、思います。間接的に、長い心の支援になれば素敵ですね。